

風土フォーラムに寄せられた意見等一覧

【その他】

	内 容
1	軽井沢は特殊な地域である為、海外の良いものを取り入れたらどうか。
2	軽井沢には優秀な人材がたくさんいるので、登録制度等により、活動の場を与えたらどうか。
3	観光案内所が収集する情報を、町の関連部署へも伝達、共有する方法を考えたらどうか。
4	昔からいる住民が、別荘所有者や移住者ともっと人間的に深い付き合い方が出来るような意識改革をしたらどうか。
5	発地市庭が6次産業化を目指すなら、加工室等の利用を再検討したらどうか。
6	軽井沢には眠った人材がたくさんいる。そういう人材が活躍できる仕組みづくりを検討してはどうか。
7	職員が自分のポストにこもり仕事をしているだけでは人が育たない。個々の職員の得意分野を伸ばし人材を育てる事が、これからの行政には必要ではないか。
8	軽井沢の人材の豊かさは資源である。行政で多様な人材を繋ぎあわせる事や、行政自身も繋がる事で、地域の活性化に繋がられないか。
9	風土フォーラムでは、軽井沢の本質を追及していくようなテーマ（自然環境や別荘文化を守るための対策等）について議論していく事が、風土フォーラムにしかできない役割のように感じる。
10	基本会議委員の任期2年間という限られた時間の中で、成果を出すにはスピード感を出した方がよい。成果を出す前に任期が終わると中途半端な形で終わってしまう。また、成果とならなかったものを次期委員が取り組まずに消滅してしまうのはいかなものか。人が変わった場合でも方向性は変わらないように、マイルストーン(道標)が必要だと思う。
11	町で事業を進めていく時に（ヒアリング等を実施する場合）町民の声だけでなく別荘民の声も大事にしてほしい。別荘民の中には、日頃から様々な文化や芸術に触れていて、優れた感性を持った人も多い。その人たちをまちづくり等に巻き込めば、デザインや色彩に優れた街並みづくりが出来るのではないか。
12	別荘民の中には、広く強いネットワークを持っている人がたくさんいる。日頃からそういう人たちと交流していれば、町で人材探しをする場合など相応しい人を紹介してもらえる可能性もあるかも知れない。（軽井沢病院の医師不足問題を相談すれば、軽井沢病院で働いてくれる医師を連れてきてくれる可能性もあるかも知れない。）

13	町や風土フォーラムにおいて大きな取り組みを進めていく場合、シンクタンクを誘致するとよい。専門分野の人に入ってもらえば、高度なレベルの取り組みが実施できるのではないか。
----	-------------------------------------------------------------------------------------